

## 地域医療 研修プログラム 平成 22 年度（実施は 23 年）

### 1) 到達目標

医療の中におけるプライマリーケアや地域医療の位置づけと機能を理解した上、将来の実践ないし連携に役立てられるようになるために、診療所で診る患者の疾患や問題が、入院している患者とは異なることを認識し、病棟における疾患のマネジメントだけでは見られない患者へのアプローチを身につける。

### 2) 経験目標

地域医療を必要とする患者とその家族に対して全人的に対応するために、「診療所や地域病院としての外来での病診連携、僻地での医療について理解し実践する。

### 3) 行動目標

- ・患者の心理的社会的な側面（生活状況、家族との関係、社会的経済的ストレス因子など）について医療面接の中で情報収集できる。
- ・疾患のみならず、生活者としての患者に対し問題リストを作成することが出来る。
- ・患者との家族の要望や意向を尊重しつつ問題解決を図ることの必要性を説明できる。
- ・患者の日常的な訴えや健康問題について基本的な対処を提案できる。
- ・患者の問題解決に必要な医療や福祉財源を挙げ、各専門機関に相談協力出来る。
- ・診療情報提供書や介護保険のための主治医意見書の作成を補助できる。

### 4) 研修方針

次の研修施設より合計 1 ヶ月研修する。

①社会保険高浜病院；幅広く患者を診ることの出来る総合医の育成プログラムに基づき、僻地の病院としての診療を行う。地域の特性が、罹患する疾患や受療行動、診療経過にどのように影響するかを学ぶ。メインフィールドである和田診療所にてさらに特性の高い臨床研修を行動目標に沿って行う。

＜具体的には福井医大のプログラムに基づいた高浜病院での研修プログラム

に基づき研修を行う。>

## ②診療所（神戸市医師会）＋当院での地域医療研修

<当初は診療所と当院を分けて考えていたが、神戸市医師会が2週間の研修のため残りの2週間は当院で研修を行う。>

第1週；当院内科外来初診；主に内科初診外来において、神戸市北区北部の地域中核病院としての初期対応、プライマリーケアを実践し、行動目標に沿って、研修する。

具体的には、予診をとり検査指示を出す。その後診療にも携わる。その後場合により緊急番（救急研修とは重ならない様に）としての外来での時間外でも同様な研修を行う。

場合により老健業務も経験する。

第2、3週；神戸市医師会の研修となる。医師会に割り当てられた開業医での研修。2週間のうち、緩和ケアが含まれる。林場クリニック、アドベンチスト病院、六甲病院である。

第4週；地域連携室と訪問看護を主な研修とする。

MSWよりのオリエンテーション「患者様は病人であると同時に地域で生活されている生活者である」視点を再確認し、地域医療につき見直しを図る。訪問看護同行1週間行い、その合間で、介護保険の利用者医療保険の利用者、仕組みや医師の役割につき学ぶ。